



2026年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2025年11月11日

上場会社名 ネポン株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 7985 URL <https://www.nepon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 福田 晴久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 堀 建二郎

TEL 046-247-3111

半期報告書提出予定日 2025年11月14日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,111	△1.4	△199	—	△203	—	△206	—
2025年3月期中間期	3,154	△12.7	△228	—	△205	—	△147	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 △196百万円 (—%) 2025年3月期中間期 △175百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△215.23	—
2025年3月期中間期	△154.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	5,709	2,136	37.4
2025年3月期	6,024	2,332	38.7

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 2,136百万円 2025年3月期 2,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の連結業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,300	0.3	50	28.8	50	△34.9	40	—
								41.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	962,948 株	2025年3月期	962,948 株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	5,452 株	2025年3月期	5,452 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	957,496 株	2025年3月期中間期	957,506 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国経済は、個人の雇用環境や所得水準の改善がみられるなど、引き続き景気が緩やかに回復した一方で、中東を含む不安定な世界情勢や円安環境下での資材価格上昇等により、当社が主力お取引先とさせて頂いております農産物生産者を取り巻く環境は、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の中で、当社グループは『お客様が求める環境作りのために私たち(社員)はお客様の声を起点に農と住の明日を創造する会社を目指します』を事業骨子とし、引き続き販売力の強化や新製品の開発に取り組んでまいりました。

当社グループが主力としております熱機器事業は、前年度に増加しました海外向けヒートポンプ販売が一巡したこと等により、農用熱機器販売が伸び悩み、前年同期に比べ売上高が減少いたしました。

その結果、総売上高は31億1千1百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

損益面においては、売上高の減少に加え、円安進行による輸入製品のコスト上昇により売上総利益は前年同期比2千9百万円減少しましたが、研究開発費の選択と集中等の費用削減努力により販売費及び一般管理費が前年同期比5千7百万円減少したこと、営業損失は1億9千9百万円(前年同期2億2千8百万円の営業損失)、経常損失は2億3百万円(前年同期2億5百万円の経常損失)と夫々、前年同期比で増益となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純損失は、法人税等調整額が前年同期比6千9百万円増加したこと、2億6百万円(前年同期1億4千7百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)と、前年同期比減益となりました。

[熱機器事業]

当社グループが主力としております熱機器事業は、前年度に増加しました海外向けヒートポンプ販売が一巡したこと等により、農用熱機器販売が伸び悩み、熱機器事業の売上高28億8千4百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

[衛生機器事業]

衛生機器事業においては、公衆トイレ等の需要減退等により売上高は2億2千5百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

[資産]

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が1億5千5百万円、棚卸資産が3千1百万円増加しましたが、売上債権が4億7千1百万円減少したこと等により、2億9千3百万円の減少となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、投資その他の資産が2千1百万円増加しましたが、有形固定資産が5千1百万円減少したこと等により、2千1百万円の減少となりました。

[負債]

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ、短期借入金が1億7千3百万円減少しましたが、仕入債務が1億2千9百万円、賞与引当金が2千5百万円増加したこと等により、2千5百万円の増加となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、長期借入金が1億4百万円減少したこと等により1億4千3百万円の減少となりました。

[純資産]

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ、親会社株主に帰属する中間純損失を2億6百万円計上したこと等により、1億9千6百万円の減少となりました。

以上の結果、前連結会計年度末に比べ、総資産は3億1千4百万円減少し、57億9百万円となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億8千9百万円のプラス(前年同期は2億2千9百万円のプラス)となりました。

その主な要因は、売上債権の減少4億6千8百万円、税金等調整前中間純損失2億3百万円、仕入債務の増加1億3千3百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4千1百万円のマイナス(前年同期は1千万円のマイナス)となりました。

その主な要因は、定期預金の払戻による収入1千1百万円、無形固定資産の取得による支出3千1百万円、有形固定資産の取得による支出2千万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億8千万円のマイナス(前年同期は1億4千5百万円のマイナス)となりました。

その主な要因は、短期借入金の返済による支出2億5千万円、短期借入れによる収入1億円であります。

この結果、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、6億4千9百万円となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想については、2025年5月15日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	521,373	676,973
受取手形及び売掛金	1,987,474	1,695,230
電子記録債権	576,039	396,784
商品及び製品	407,906	430,507
仕掛品	126,566	116,754
原材料及び貯蔵品	821,307	840,314
その他	93,684	84,455
貸倒引当金	△570	△478
流動資産合計	4,533,781	4,240,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	607,347	570,820
その他(純額)	426,049	411,186
有形固定資産合計	1,033,396	982,006
無形固定資産		
投資その他の資産	176,909	184,686
その他	280,469	302,169
貸倒引当金	△457	△267
投資その他の資産合計	280,011	301,902
固定資産合計	1,490,317	1,468,595
資産合計	6,024,099	5,709,138
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	312,867	356,523
電子記録債務	214,041	300,239
短期借入金	1,733,244	1,559,860
未払法人税等	13	11,760
賞与引当金	124,036	149,252
製品保証引当金	8,983	5,394
事務所移転費用引当金	304	-
役員賞与引当金	-	12,519
その他	244,792	268,140
流動負債合計	2,638,282	2,663,689
固定負債		
長期借入金	199,746	94,916
役員退職慰労引当金	36,190	35,726
退職給付に係る負債	790,877	754,677
資産除去債務	10,480	10,480
製品保証引当金	4,545	2,245
その他	11,011	11,011
固定負債合計	1,052,851	909,057
負債合計	3,691,133	3,572,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,424	601,424
資本剰余金	150,601	150,601
利益剰余金	1,524,544	1,318,457
自己株式	△9,061	△9,061
株主資本合計	2,267,507	2,061,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,437	37,572
為替換算調整勘定	△23,059	△22,821
退職給付に係る調整累計額	70,080	60,219
その他の包括利益累計額合計	65,458	74,969
純資産合計	2,332,965	2,136,390
負債純資産合計	6,024,099	5,709,138

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,154,274	3,111,520
売上原価	2,116,745	2,103,524
売上総利益	1,037,528	1,007,995
販売費及び一般管理費	1,265,617	1,207,724
営業損失(△)	△228,088	△199,728
営業外収益		
受取利息	28	91
受取配当金	1,647	1,866
受取地代家賃	4,200	4,200
為替差益	4,448	2,916
その他	23,882	4,098
営業外収益合計	34,207	13,173
営業外費用		
支払利息	10,389	13,398
その他	1,242	3,287
営業外費用合計	11,632	16,686
経常損失(△)	△205,514	△203,241
特別損失		
固定資産除却損	1,669	637
支払補償費	3,467	-
損害補償損失引当金繰入額	5,412	-
特別損失合計	10,548	637
税金等調整前中間純損失(△)	△216,062	△203,879
法人税、住民税及び事業税	1,729	2,954
法人税等調整額	△70,101	△747
法人税等合計	△68,372	2,207
中間純損失(△)	△147,690	△206,086
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△147,690	△206,086

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△147,690	△206,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,981	19,134
為替換算調整勘定	△12,484	237
退職給付に係る調整額	△5,242	△9,861
その他の包括利益合計	△27,708	9,511
中間包括利益	△175,398	△196,574
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△175,398	△196,574
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△216,062	△203,879
減価償却費	78,270	79,168
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21,644	△45,468
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2,277	△2,616
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,568	△464
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,541	25,216
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	186	△282
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	5,691	△5,888
事務所移転費用引当金の増減額 (△は減少)	-	△304
損害補償損失引当金の増減額 (△は減少)	5,412	-
受取利息及び受取配当金	△1,676	△1,957
受取地代家賃	△4,200	△4,200
支払利息	10,389	13,398
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	12,519
会員権売却損益 (△は益)	△2,275	-
固定資産除却損	1,669	637
支払補償費	3,467	-
売上債権の増減額 (△は増加)	617,928	468,293
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△95,723	△34,097
仕入債務の増減額 (△は減少)	27,571	133,098
その他	△150,055	74,258
小計	225,563	507,433
利息及び配当金の受取額	1,674	1,949
利息の支払額	△10,388	△13,398
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	16,291	△6,881
補償金の支払額	△3,467	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,673	489,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	35,000	11,000
有形固定資産の取得による支出	△17,070	△20,620
無形固定資産の取得による支出	△33,829	△31,828
その他	5,166	273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,733	△41,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	100,000
短期借入金の返済による支出	-	△250,000
長期借入金の返済による支出	△166,526	△128,214
配当金の支払額	△28,671	△6
自己株式の取得による支出	△20	-
その他	-	△2,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,218	△280,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,039	△1,106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	74,761	166,600
現金及び現金同等物の期首残高	455,451	483,373
現金及び現金同等物の中間期末残高	530,212	649,973

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	熱機器	衛生機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,914,193	239,096	3,153,289	984	3,154,274
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,914,193	239,096	3,153,289	984	3,154,274
セグメント利益	310,680	53,427	364,108	303	364,411

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、搬送機器サービス等が含まれております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	364,108
「その他」の区分の利益	303
全社費用(注)	△592,500
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△228,088

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	熱機器	衛生機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,884,931	225,949	3,110,880	639	3,111,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,884,931	225,949	3,110,880	639	3,111,520
セグメント利益	299,700	49,648	349,348	236	349,584

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、搬送機器サービス等が含まれております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	349,348
「その他」の区分の利益	236
全社費用(注)	△549,312
中間連結損益計算書の営業損失(△)	△199,728

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。